令和７年度第１回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議 会議録

１　開催日時　　令和７年７月 10 日（木）　午後７時から午後８時 30 分まで

２　開催場所　　小牧市役所　本庁舎６階　601 会議室

３　出席者

（１）小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議委員

中部大学人文学部歴史地理学科　教授	大　塚　俊　幸
名城大学理工学部建築学科　教授	生　田　京　子
中部大学工学部都市建設工学科　教授	磯　部　友　彦
小牧商工会議所　副会頭	秦　野　利　基
小牧駅前まちづくり研究会　代表	加　藤　紀　文
特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク　代表理事	関　　哲　雄
小牧小学校区地域協議会　会長	丹　羽　祐　二
小牧市地域活性化営業部長	石　川　　徹
小牧市都市政策部長	舟　橋　朋　昭

（２）事務局

小牧市都市政策部次長	川　島　充　裕
小牧市都市政策部都市整備課長	大　澤　正　人
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係長	田　中　一　平
小牧市都市政策部都市整備課都市整備係技師	坂　野　祐　輔

（３）傍聴者

６名

４　欠席者

０名

５　議事

（１）開会

（２）議題

① 会長の選出及び職務代理者の指名について

② 小牧駅前広場等整備基本計画の検討状況について

（３）その他

（４）閉会

６　会議資料

資料１　小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議設置要綱

資料２　委員名簿
資料３　現況平面図
資料４　計画平面図（※画面共有資料）
資料５　イメージパース（※画面共有資料）

７　議事内容

【事務局】（大澤課長）

大変お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、令和７年度第１回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます小牧市都市整備課長の大澤です。よろしくお願いいたします。

はじめに、本会議は公開会議として開催し、本日は６名の傍聴者がお見えであります。

ここで、傍聴者の皆様へ改めてご案内申し上げます。会場内での写真撮影、録画、録音等は禁止とさせていただきます。また、会議開催中は、静粛に傍聴していただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

次に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

事前に委員の皆様へお送りさせていただいております資料としまして、資料１小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議設置要綱、資料２委員名簿、資料３現況平面図でございます。また、資料４計画平面図、資料５イメージパースにつきましては、市として現在検討中の情報を含んだ資料となり、資料のみが出回ることで、不当に市民の間に混乱を生じさせる恐れがあることや、関係者への影響も考慮し、資料の配付等は行わず、画面での共有資料とさせていただいております。後ほどの議題の説明時において、委員皆様の机上の iPad 及び会場内のモニターに投映いたしますので、画面上でのご確認をお願いいたします。

次に、資料２委員名簿に基づき、委員の皆様方のご紹介をさせていただきます。

中部大学人文学部歴史地理学科教授　大塚 俊幸　様　でございます。

名城大学理工学部建築学科教授　生田 京子　様　でございます。

中部大学工学部都市建設工学科教授　磯部 友彦　様　でございます。

小牧商工会議所副会頭　秦野 利基　様　でございます。

小牧駅前まちづくり研究会代表　加藤 紀文　様でございます。

特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク代表理事　関 哲雄　様　でございます。

小牧小学校区地域協議会会長　丹羽 祐二　様でございます。

小牧市地域活性化営業部長　石川 徹　でございます。

小牧市都市政策部長　舟橋 朋昭　でございます。

以上、９名の皆様でございます。

なお、委員の皆様のお手元には、委嘱状及び任命書を配付しておりますのでご査収ください。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

都市政策部次長の　川島　でございます。

都市整備課都市整備係長の　田中　でございます。

都市整備課都市整備係の　坂野　でございます。
そして、私、都市整備課長の　大澤　でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
また、本日は、小牧駅前広場等整備基本計画策定支援業務委託の受注者であります株式会社国際開発コンサルタンツの担当者２名も同席しておりますのでご報告いたします。
ここで、事務局を代表しまして、都市政策部次長の川島より挨拶を申し上げます。

【事務局】（川島次長）
皆様、改めまして、こんばんは。都市政策部次長の川島でございます。
本日は、ご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃より、市政各般に渡り、ご理解、ご協力を賜っておりますことに、心より感謝を申し上げます。
さて、この小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議は、現在、本市で検討を進めております小牧駅前広場等整備基本計画の策定に当たり、交通、中心市街地活性化及び商業振興をはじめとするまちづくりの視点で必要な議論を行うため、設置させていただいたものであります。
後ほど、事務局からご説明させていただきますが、本日は、現在、小牧市の案として検討中の小牧駅前広場の再整備に伴う施設配置レイアウト等をお示しし、委員の皆様のそれぞれの視点からご意見をいただきたいと考えております。
委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】（大澤課長）
それでは、次第の２議題に移ります。
（１）会長の選出及び職務代理者の指名についてであります。
本会議の会長につきましては、資料１小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議設置要綱第３条第１項の規定に基づき、委員の互選によってこれを定めることとされております。また、同条第３項の規定により、会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理することとなっております。
従いまして、まずは会長につきまして、委員の互選をいただきたいと思います。どなたか立候補、またはご推薦をお願いいたします。

【秦野委員】
大塚委員を推薦させていただきたいと思います。
理由としまして、大塚委員は、小牧市都市計画審議会の会長を務められており、まちづくりに関する専門的な知識を備えられていることや、小牧市中心市街地グランドデザイン策定委員会の委員長を務められ、小牧駅をはじめとする小牧市の中心市街地の状況もよくご存じであるなど、知識・ご経験ともに豊富であられます。このため、会長には大塚委員を推薦させていただきます。

【事務局】（大澤課長）
ただいま、秦野委員より、大塚委員を会長に推薦したいとのご発言がありましたが、他にはござ

いませんか。
　無ければ、大塚委員を会長に選任することについて、ご異議ございませんでしょうか。

《異議なしの声》

　ありがとうございます。ご異議なしとのことですので、本会議の会長には、大塚委員にご就任いただきたいと思います。大塚委員、大変恐れいりますが、席のご移動をお願いします。

《大塚委員が会長席へ移動》

　それでは、大塚会長よりご挨拶をいただきます。大塚会長、よろしくお願いいたします。

【大塚会長】
　会長に選出していただきました中部大学の大塚でございます。よろしくお願いいたします。
　この会議のテーマは、小牧駅前広場の整備の方向性を検討することです。小牧駅は、小牧市のへそであり玄関口となります。そのため、市にとって重要な場所となります。この場所をどのように整備し、それによって、どのような役割を担うのか、あるいは、人や車の流れをどのように処理するのか、それによってまちなかの中心部における人の流れが影響を受けるため、大変重要な場所です。
　市が案を提示して、我々は策定委員会ということではないので、有識者会議ということでそれぞれの専門や立場から忌憚のない意見を出し、それを受けて行政の方で良い案を作っていただくという役割だと思います。
　どうぞ忌憚のないご意見を出していただければなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
【事務局】（大澤課長）
　ありがとうございました。
　以後の進行につきましては、大塚会長にお願いしたいと思います。大塚会長、よろしくお願いいたします。
【大塚会長】
　それでは、まず、職務代理者の指名を行いたいと思います。
　小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議設置要綱第３条第３項の規定に基づき、会長である私より指名させていただきます。職務代理者につきましては、学識経験豊富であり、中心市街地グランドデザイン策定委員会の副委員長でもあられました生田委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

《異議なしの声》

　ありがとうございます。ご異議なしとのことですので、会長の職務代理者は、生田委員にお願いいたします。
　続きまして、議題（２）小牧駅前広場等整備基本計画の検討状況についてであります。この件について、事務局より説明を求めます。

【事務局】（田中係長）

それでは、議題（２）小牧駅前広場等整備基本計画の検討状況についてご説明申し上げます。少し長くなりますので、着座にて失礼させていただきます。

はじめに、事業の経緯等についてご説明いたします。

本市では、令和３年３月に、こまきこども未来館及び小牧市中央図書館がオープンし、中心市街地活性化に向けて再スタートを切りました。令和４年３月には、中心市街地のまちづくりの方向性を示した中心市街地グランドデザインを策定し、まちの将来像「小牧山や中心市街地の魅力を活かし、歩いて楽しめる活気あるまち」を実現するために、様々な施策に取り組むこととしております。とりわけ、小牧駅周辺に関しては、こども未来館や中央図書館等の魅力を活かしたにぎわいの形成に向けた取組内容として「小牧駅西駅前広場からにぎわい広場周辺にかけての一体的な利用の検討」を、安全に暮らせるまちなかを目指した取組内容として「小牧駅周辺における避難者及び帰宅困難者への支援」を、市民が集い、憩うことができる空間の整備に向けた取組内容として「小牧駅に隣接する駅西公園、駅東公園の整備」を、交通結節点機能の強化に向けた取組内容として「駅の東西に分散しているバス乗降場とタクシー乗降場の集約化」をそれぞれグランドデザインに位置付けております。その後、これまで交通分野をはじめ観光分野等で連携・協力を図ってきた名古屋鉄道株式会社と本市との間で、令和５年５月に「交通・観光・まちづくりの推進に係る包括連携協力に関する協定書」を締結したところであり、小牧駅前広場につきましては、本市としてピーチライナーの撤去跡地の活用やグランドデザインに位置付けた様々な課題解決を含めた再整備の必要性と、名古屋鉄道株式会社として現在の名鉄小牧駅ビルに関する将来的な施設更新等の課題解決の必要性などから、同社と連携・協力し東西の駅前広場や都市公園のみならず名鉄小牧駅ビルも含め一体的に捉え、再配置案の検討を進め、小牧駅前広場等整備基本計画を策定することとしたものであります。

そして、本日の有識者会議では、名古屋鉄道株式会社として意思決定がなされた案ではございませんが、現在、小牧市の案として検討中の施設再配置レイアウト等をお示しし、委員の皆様のそれぞれの視点からご意見をいただき、より良い計画案としていきたいと考えているところでございます。

続きまして、小牧駅の現況についてご説明いたします。恐れ入りますが、資料３現況平面図をご覧いただきたいと思います。

小牧駅につきましては、中央部に名鉄小牧駅ビルが立地し、その東側にはバスロータリーと駅東公園が、西側には駅西公園とタクシー・一般車ロータリーが配置され、道路を挟んだ駅の南北にそれぞれ駐輪場が配置されています。また、駅ビルのすぐ東側は桃花台線、いわゆるピーチライナーですが、その施設撤去後の跡地となっており、一部を仮設駐輪場として使用しております。土地の所有状況としましては、駅上部であります名鉄小牧駅ビル用地は名古屋鉄道株式会社が所有し、桃花台線撤去跡地及び南北の駐輪場の部分は愛知県が所有しています。そして、これら以外のバスロータリー、タクシー・一般車ロータリー、駅西公園及び駅東公園は小牧市の所有となっています。地下部の状況としましては、名鉄小牧駅ビルの地下には小牧駅が、県有地の地下には県道名古屋犬山線が、そして、タクシー・一般車ロータリー及び駅西公園の地下には小牧駅地下駐車場がそれぞれ整備されております。このため、施設再配置の検討にあたっては、地下部が利用できないことや地上部に配置する施設の用途・構造など、制限を伴う箇所がございます。各施設の機能等でありますが、名鉄小牧駅ビルには、ホテル、宴会場、レストラン、テナント、スポーツクラブ、立体駐車場、駐輪場等が入っており

ます。バスロータリーは、名鉄岩倉駅や名鉄名古屋駅等に向かう名鉄バス、桃花台ニュータウンに向かうあおい交通の路線バスやこまき巡回バス「こまくる」が発着するほか、近隣企業等の送迎バスが発着場所として利用しています。近隣の一時預かり駐車場の収容台数は、市営の小牧駅地下駐車場が193台、名鉄協商が運営する駅ビルの立体駐車場が201台であります。また、57台収容の中央図書館地下駐車場、415台収容のラピオ地下駐車場、39台収容の浦田駐車場があります。駐輪場の収容台数は、市が管理する駅北、駅南及び駅東側の仮設駐輪場と名鉄協商が管理する駐輪場を合わせて約1,200台であります。また、小牧駅の特徴としましては、名鉄小牧駅は、市内各駅の中で最も乗降客数が多く、日平均１万人余であり、駅までのアクセス方法の割合は、第６回中京都市圏パーソントリップ調査の結果によりますと、徒歩が約60%、自転車利用が約23%、送迎を含めた自動車利用は約4%であり、近隣他市の主要駅と比べ、徒歩や自転車の割合が高く、自動車利用は低くなっています。

次に、再整備の基本的な考え方である整備方針についてご説明いたします。

先ほど申し上げました中心市街地グランドデザインにおける小牧駅周辺に関する取組内容を踏まえまして、「にぎわいの創出」、「居心地の良い空間の創出」、「交通結節点機能の強化」、「防災機能の強化」をそれぞれ図ることを整備方針とします。特に、小牧駅は市の玄関口であり本市の中心市街地でもあることを踏まえ、鉄道等の公共交通利用者のみならず多くの方々が集い、憩いの場となるような「市の玄関口に相応しい新たなにぎわい空間の創出や居心地の良い空間の創出」を目指すものであり、名鉄小牧駅ビルによる駅前広場空間の東西分断及びラピオや中央図書館と駅前広場との間の歩行者動線が分断されていることは課題ととらえているところであります。

こうした整備方針や課題を踏まえ、現在、検討中の施設再配置レイアウトについてご説明いたします。前方のモニターもしくは委員皆様の机上にあります iPad の画面をご覧ください。

こちらは、現在、小牧市の案として検討中の計画平面図になります。本計画案では、駅前広場空間の東西分断要素となっている駅ビルを南東側、図面では「民間ホテル用地」と記載されている位置に再配置し、空いた空間を活用して、東西分断がなく、多様な使い方ができる一体的な広場空間を配置します。そしてこの一体的な広場空間は都市公園として、小牧駅から小牧山までの中心市街地の軸となるシンボルロード、図面では駅前広場の南側を東西に走る市道小牧駅前線となりますが、このシンボルロードに隣接するかたちで配置し、将来的な常設店舗の設置も見据えた上で、ニーズに対応した可変性を持った、キッチンカーやトレーラーハウスといった移動式店舗や大屋根など、人々が集い、憩うことができる施設を配置し、にぎわいの創出や居心地の良い空間の創出を図ります。交通機能については、駅前広場内の北側に配置します。バスロータリーは、タクシーとの一体のロータリーとして北東側に配置し、南側の市道小牧駅前線に接続する進入路を設けます。一般車ロータリーは、現在と同じ箇所とし、駅前広場の北側を東西に走る市道中央二丁目５号線からの出入とします。また、小牧駅は自動車に比べて自転車によるアクセスが多いという特徴を踏まえ、駐輪場については、駅上部の北部分、図面では中央上部の「平面駐輪場」と書かれた位置に集約配置し、駅との近接化を図ります。また、駐車場については、駅南北の現在の駐輪場の箇所に一時預かり駐車場を配置します。駅前広場西側を南北に走る市道小牧駅西線、こちらは中央図書館と駅前広場の間を走る道路となりますが、この道路については、中央部分、図面では真ん中付近で道路が茶色に塗られた箇所ですが、この場所で歩行者が道路横断できるようにします。駅への自動車によるアクセスや、接道する施設・店舗及び周辺住民への影響などを踏まえますと道路を廃止することは困難であるため、南から北向きへの一方通行とし、クランクやハンプを設けるとともに石畳風の舗装とし、通過車両の抑制や速度低下

を図り、歩行者が安全に横断できるようにしたいと考えております。

次にお示しします資料は、先ほどお示しした計画平面図をイメージパース化したものとなります。あくまでイメージとなりますが、駅上部を含めた一体的な広場空間につきましては、基本的には建築物等を設けず芝生広場を主体とした空間を考えております。そして、先ほどもご説明いたしましたとおり、キッチンカーやトレーラーハウスといった移動式店舗やテーブルや椅子などを設置しております。また、もともと駅ビルがあった駅上部については、イメージパースで少し高くなっておりますが、この部分については、地下駅の構造上、防水対策や荷重処理のためどうしても地盤面が上がってしまうものであります。イメージパースではこの段差を活用し、変化のある空間となるような階段やスロープを設けております。なお、南東部の民間ホテル用地については、民間事業者が設計、施工等を行うものであるためイメージパースでは白抜きとなっておりますが、新しい駅ビルの建築計画においては、ビルに導入する機能は、ホテル及びそれに付帯する機能を検討されているとお聞きしております。

以上で、議題（２）小牧駅前広場等整備基本計画の検討状況についての説明とさせていただきます。

【大塚会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ありましたら、ご発言をお願いします。

【丹羽委員】

小牧駅周辺の整備が議題となるたび、毎回、駅前に交番を作ってほしいとお願いしています。これまで何十年にもわたってお願いしていますが、一度も実行していただいたことがありません。今回の計画図にもありません。ぜひそれをお願いしたいと思います。県の土地に交番を作ればいいので、県有地に交番を誘致してください。

続いて、現在の小牧駅周辺では、タクシーは予約しないと利用することができません。もっと公共交通を充実させていただかないといけないと思います。市民、特に高齢者の方が病院に行きたくてもタクシーが拾えません。予約以外は全部拒否されてしまいます。その点でタクシーの利用環境を充実させる必要があると思います。

３つ目に、「小牧駅はどこにあるのですか」と言われることがあります。今までても、駅ビルがあって、「あれは名鉄のホテルなのでしょう。駅はどこにあるのですか」と言われます。資料の計画図等を見ても駅がどこにあるのか分かりにくいため、苦情が言われてしまうように思います。小牧駅の場所がわからない時に、交番があると道案内をしていただくことができると思うのですが、何十年と要望していても一度も採用されたことがありません。

加えて、小牧山の青年の家がなくなるため、現在ある不登校学級がなくなってしまいます。不登校の子どもたちの居場所については、ラピオに「こまきこども未来館」があるので多少は改善されていますが、もっと子育て支援施設を駅周辺に建設していただきたい。駅前広場内にキッチンカーの場所を設けるのであれば、そこに保育園を建設していただきたいと思います。近隣の小学校では、当初の計画よりも子どもの人数が多くなっており、教室が不足しつつあります。特に、特別支援学級の教室が不足していると聞きます。近隣でも、過去に保育園の建設をお願いしていました。今度こそ、子どもたちの居場所をつくってください。

【大塚会長】
ありがとうございました。
県有地に交番の建設、駅周辺におけるタクシーの台数不足、駅の位置の分かりにくさ、子どもの居場所について、４点ほどご意見をいただきました。関連して何か委員の皆様から、提案やアイデアを出していただいて、その後、市から回答をお願いしたいと思います。

【磯部委員】
確かに、資料を見ると駅の場所が分かりにくいなと思います。冒頭の市からの説明にあったように、小牧駅は、都市計画的に凄いことをやっています。幹線道路と鉄道を地下に埋め、地上をいろいろな土地利用ができるようにしています。これは一つの財産だと思います。その反面、駅がどこにあるか分からなくなっていると思います。
私としては、駅の場所が分かるようなものをつくる、例えばトイレがほしいなと思います。地下に行けばトイレがあると思いますが、小牧駅の駅前広場には、バス停やタクシー乗り場があり、本来その場所にはトイレが必要であると思います。あわせて、駅の入口が分かるようなシンボル的な施設を建設しておくと、駅前広場の中心的な施設として目立つようになると思いました。シンボル的なものが何かあると良いと思います。

【大塚会長】
ありがとうございます。他に意見ありますか。
それでは、事務局から回答をお願いします。

【事務局】（大澤課長）
ご意見ありがとうございます。駅が分かりにくいというご意見は承知しており、再整備の検討案について、磯部委員よりありましたように、鉄道駅が地下にあることを活かして、駅上部に大きな空間を確保したいという思いがあります。駅上部のつくり込みは、駅前広場全体の機能の配置が決まった後に検討することなのですが、シンボルとなる大屋根を建設するなど考えておりました。市としては、小牧駅前広場にシンボルとなるような象徴的なものをつくる必要があると認識しております。
交番に関しては、交番を駅前に設置してほしいということについては、昔からご意見があることを承知しております。今回の資料に記載はありませんが、交番の設置も検討していきたいと思いますが、交番は警察が管轄しており、警察からは県内他都市でも交番が老朽化しており、順次建替えをしているような状況であるとお聞きしております。

【大塚会長】
ありがとうございます。確かに駅前広場というより、駅上広場という感じがします。小牧市のへそであると最初に申し上げましたが、それが感じられないというのが小牧駅の特徴であり、今後どのようなつくり込みをしていくのかというのは重要で工夫が必要かなと感じました。
先ほどの丹羽委員からの利用者が利用したくてもタクシーが捕まらないというご意見は、駅前にタクシーが少ないということなのでしょうか。

【丹羽委員】
以前は駅周辺にタクシー会社があったのですが、区画整理をする際に他所に追い出されてしまいタクシーを利用しにくい状況となってしまいました。もともとは、タクシー会社が２社くらいありましたが、現在は追い出され、小牧駅から遠くにあります。駅前にタクシーが停まっていても拾える保証はなく、ほぼ予約のみとなっています。また、午前中は企業の送迎もあり、ロータリーが混雑するため、前もってタクシーを予約しないといけない状況になっています。もし、体調が悪くなったら、救急車を利用しないといけない状況です。

【大塚会長】
近所の人が小牧駅に来てタクシーに乗って市内のどこかへ出かけることができていないということでしょうか。

【丹羽委員】
最低限、そのような利用ができるようにしていただきたいと思います。

【大塚会長】
ありがとうございます。皆様からもご意見をいただきたいと思います。

【秦野委員】
昔の小牧駅を知っている身からすると、当時はすごくの賑わっていた状況がありました。確かに時代が違うと言ってしまえばそれまでですが、小牧駅に行くといろいろな買い物が楽しめて、飲食も楽しむことができました。いつ行ってもにぎわっている印象がありましたが、にぎわいが消えてなくなってしまってから久しいです。中央図書館やこども未来館に訪れる方は非常に多いですが、今思うと車社会になってから駅周辺に集まる理由が減ってしまったように思います。
小牧駅は１日約１万人の利用者がおり、それだけの人が移動するためだけに使っていますが、そこににぎわいを生み出す仕掛けが不足しているように思います。他から小牧駅に来ても何もないという感覚になると思います。ビジネスなどで小牧に来られた方からもそのように言われるのは小牧市民としてショックですので、もう少し街の機能として、様々なものがあるべきだと思います。
それと同時に再整備ということで、にぎわいや商業振興にあたる部分として、キッチンカーやトレーラーハウス等が設けてありますが、これだけ広い土地なので、防災上、何か発生した際に帰宅困難者がここで過ごすことができるような施設等を仮設で建てることができ、給排水施設を配置した上で、市民がいろいろな活動ができるスペースや交流できるスペースを設けることが大事だと思います。資料のイメージパースにある段差についても工夫して、天候に左右されず雨でも交流ができるスペース等を確保することができると良い空間になると思います。

【大塚会長】
ありがとうございました。
人が集まる場所であってほしいということで、そのような機能を設け、どのように配置するのか

というご意見だと思います。
　他の方、ご意見ありますでしょうか。

【生田委員】
　私は中心市街地グランドデザイン策定の会議にも出席させていただきました。小牧駅周辺には、ラピオや中央図書館があり建物の中は充実しているのに対して、子どもが遊ぶような公園がない状況にあると思います。グランドデザインの時の位置付けを復習し、キッチンカーなどの機能を持ってくるに至った経緯を知りたいです。また、遊具のようなものは設置しないのかも伺いたいです。
　そして、他の市町村では、５年程度の期間で仮設的な施設を設けて商業的なことをしている事例があります。このようなやり方もあるのではないかと思いました。
　先ほど、保育園の話が出ていて、保育園が駅前にあることは、この駅から他のエリアに出勤する女性にとってはありがたいことであり、面白いアイデアだと感じました。
　これが良いということではないですが、キッチンカーやトレーラーハウスに集中している印象を受け、気になり発言させていただきました。
　加えて、小牧駅を一番多く利用している方の属性が知りたいです。

【大塚会長】
　ありがとうございます。
　グランドデザインにおいて、小牧駅がどのように位置付けられているか振り返りをお願いしたいということと、今回の提案の背景やポイント、どういった考えで今回の計画を提案されたのか、もう少し詳しくお話いただければと思います。

【事務局】（大澤課長）
　まず、グランドデザインにおける小牧駅周辺の位置付けについて、中央図書館の北側のにぎわい広場と駅西公園活用して魅力を創出するとし、駅前広場からにぎわい広場周辺にかけて、一体的な利用を検討するとしています。次に安全に暮らせるまちなかを目指しますということで、避難者や帰宅困難者への支援を駅周辺でやっていきたいとしています。緑とやすらぎのある街の創造の取り組み内容として、市民が憩うことができる空間整備ということで、小牧駅に隣接する駅西公園と駅東公園の整備をしてきましょうとしており、芝生広場など人々が憩うことができる居心地の良い安らぎのある空間整備を挙げています。交通関係については、公共交通の利便性向上のため交通結節点機能を強化しますということで、東西に分かれているバス乗降場とタクシー乗降場を一体化及び集約化しましょうという記載があり、公共交通機関の乗り換え利便性を向上させましょうということがグランドデザインで位置付けされています。
　キッチンカーやトレーラーハウスの経緯についてでありますが、常設店としてハコモノを作って飲食店を誘致できないかという検討も行いましたが、民間事業者に対してサウンディング調査などでは難しいのではないかとのご意見もいただいたところであります。一方、キッチンカーやトレーラーハウスのような半常設型であれば、チャレンジショップとして入っていただいて、もし上手くいかなかったとしても空き店舗になるわけではなく、他の活用を検討することができます。可変性をもつことでニーズに合わせながらチャレンジ的に小牧駅前広場でやってみたいという人に入って

いただきたいということで、キッチンカーやトレーラーハウスとしております。また、大きなイベントを行う際に、キッチンカーやトレーラーハウスであれば移動することができ、大きな広場を確保することを検討しているところです。生田委員からご意見いただきました５年程度の仮設店舗と同じような使い方もできるのではないかと思っております。

【事務局】（田中係長）
第６回パーソントリップ調査の結果より鉄道駅の利用状況について説明させていただきます。パーソントリップ調査では移動の目的ごとに集計がされており、業務が約２％、買い物、観光、遊び等を含みます自由目的が約７％、出勤・登校が約 45%、帰宅が約 45%となっています。したがいまして、小牧駅は通勤通学で使われることが大半という状況にあります。

【大塚会長】
ありがとうございます。
小牧駅までの交通手段としては徒歩の分担率が約 60%となっており、他都市と比べて驚異的な値となっています。通勤・通学の時間帯であれば、車で溢れてしまいますが、小牧駅では、そのような状況は見られていません。これを小牧駅の特性と捉えて検討を進める必要があるかと思います。
その他、ご意見ありますでしょうか。

【関委員】
私からは市民活動の支援という立場でお話させていただきます。冒頭、こども未来館が整備されたという話がありました。私たちは同じラピオ内でこまき市民交流テラス「ワクティブこまき」を運営しておりますが、以前の市民会館の市民活動センターから移転し、ラピオ内にリニューアルオープンしました。市民会館も中心市街地からそれほど遠い場所ではないのですが、当時は年間 1,800 名程度の利用があったのに対して、現在の中心市街地に移転してから約９倍の 17,000 人の方に利用していただいています。一見すると、中心市街地に移転したため利用者が増えているように思われますが、担い手不足、高齢化ということで、市民活動をやっている方たちが減っているなど他市の市民活動センターでは利用が減っている中で、順調に利用者が増えているのは、ハードだけではなく、使いやすい部屋や気軽に訪れることができる窓口などソフトの影響も大きいと感じています。
また、私たちは中心市街地活性化プロジェクト「コマナカ meet」という取組の事務局を担当しています。その経験から、コーディネーターというのは必ず必要だと思います。ただ場所を整備するのではなく、そこにどんな思いの人たちが、どのように関わっていくのかという思いを受け取って、それを実際の形にしていくのかという、そういったフェーズは必ず必要だなと思います。子どもや高齢者の方、移動が困難な方が多いなど、様々な課題があると思いますが、ライフスタイルによって必要性が変わっていくので、そこを受け止めるためには、ハードだけではなくソフトの面でも対話を重ねながら寄り添った施策を小牧市とつくっていくことが必要だと思います。
今回のイメージパースを見ますと、市民の方々が使えるエリアが拡大しており、市民活動に携わる方などが活躍できる場が増えていくことは大変喜ばしいことと思っていますが、それと同時に、ハード面に加えてソフト面の部分でコーディネーターが中心となって施策展開をしていただけると

良いと思います。

【事務局】（大澤課長）
現在、中央図書館の北側の道路区域と駅西広場を合わせて「にぎわい広場」としてイベント等で活用していただいていますが、建物を広場に建設するよりも、いろいろな活用ができる空間にしたいという思いから、芝生をメインとした広場の案としました。関委員をはじめコーディネーターの方は心強く感じますので、連携しながら案の検討ができれば良いと思っています。

【大塚会長】
広い広場ができたとしても、何らかの活動がないと閑散としてしまう。閑散とさせないために、何をするのか合せて考えていくことになると思います。
他にご意見ありますでしょうか。

【加藤委員】
我々は「小牧駅前まちづくり研究会」というものを設立し、にぎわいがあって居心地の良い空間づくりについて研究し、実際に社会実験やイベント実施をしています。以前から、1日だけのマルシェなど単発的な取組は行われていましたが、一昨年からある程度の期間続けてのイベントを行うようにしました。去年は、「ビアガーデン」と称して、17日間連続のイベントを行いました。はじめ100席の座席を用意したのですが、イベントが始まると不足し、最終的には300席まで用意するなど大盛況でした。今年もイベントの企画をしており、さらに、日にちを増やして23日間やろうと思っています。そして、今回は半常設型のキッチンハウスを設置する予定です。
また、芝生についてですが、涼しげで綺麗ではありますが、養生期間が必要となります。例えば、９月末から10月中旬までの期間で冬の芝生を育てるため立ち入りができない期間あるなど、いい季節に芝生のエリアを使えないことがあります。また、芝生だと車が入れないなど、芝生によって自由度が狭められてしまうこともあります。
加えて、イベントを実施するには、電源や給排水の問題も絡んできます。能動的に使われるようにするには、そのための配置を検討しないと使いづらいということになってしまいます。半常設でも長い期間何かをやっているような集合体があると「いつ来ても何かあるよね」となると思います。今までにぎわいがなかったところでもにぎわいがあるような場所に変化するかもしれないと思い活動しています。これからの社会実験もどういうことをやればどのぐらいの人が来るだろうかと思い、毎日時間帯ごとに何人来て、どういうことが行われているのか、データ化しています。市とも連携しより建設的に物事を進め、様々なことにチャレンジしたいと思います。

【大塚会長】
社会実験をされてイベントに人が訪れるのを見て、周辺に飲食店等をオープンしたなど、社会実験が実際の店舗出店に繋がったというようなことはありますか。

【加藤委員】
残念ながらまだないです。小牧駅周辺の空きテナントに飲食店が出店できるようなところがない

状況です。一方で、駅の近くに飲食店をオープンしたいという話は聞きますが、空きテナントとのバランスが取れていません。

【大塚会長】
分かりました。ありがとうございます。どういう使い方をするかということを前提として整備が必要だということでした。
他の方、ご意見ありますでしょうか。

【秦野委員】
現在、小牧駅には観光案内所があり、また、以前には住民票等を発行できる窓口もありました。また、犬山では、名鉄ホテルからインディゴに変わった途端に、これまであった交流スペースが無くなってしまったという事例があります。
新しいホテルビルは基本的に民間事業者が整備されると思うのですが、客室だけの単なるホテルではなく、公的サービスを受けられる施設や、いろいろな行事や交流ができるスペースなども必要ではないかと思います。今のところ住民票発行窓口などの設置は考えられていますでしょうか。また、ホテルに付帯する機能について何か伺っていますでしょうか。

【事務局】（大澤課長）
現在検討中の案の状態で話をさせていただきますが、過去あった小牧駅出張所のような施設の設置は現在のところ検討しておりません。
ホテルに付帯する機能については、ホテル利用者のための駐車場のみとお聞きしております。また、ホテルは宿泊機能のみを想定しており、現在の名鉄小牧駅ビルにあるような宴会場やスポーツクラブなどの検討はされていないとお聞きしております。

【大塚会長】
初めて訪れた人に向けた情報提供機能は、駅前にあるべきものと思います。一度、本来駅前にあるべき機能について整理されると良いと思います。
他の方、いかがでしょうか。

【磯部委員】
駅前広場には、自動車が集まる場所、駐輪場がある場所、バスが集まる場所があり、雨が降ると濡れてしまうため、それらを屋根で繋ぐと良いと思います。また、屋根にシンボルとなるようなアクセントがあると面白いと思います。
にぎわいについては、道路をつくると沿道のビルの１階に店舗ができて楽しい場所になったりします。にぎわいを創出するため、どうやって上手くやっていくのか、どこでやるのかなど議論はあると思いますが、単なる道路にしてしまうのは楽しさがないように思います。
また、グランドデザインにはシェアサイクルについての記載がありますが、こういったものの導入についてもあわせて考えていくと良いかと思われます。

【大塚会長】
今は主に駅前広場のことを検討していますが、周辺も一体的に捉え、まちのイメージを考える必要がありますね。
一点私から質問させていただきます。本検討案では、小牧駅地下駐車場はそのままですが、駐車場や駐輪場の整備の考えについてお伺いできればと思います。

【事務局】（大澤課長）
新しい民間ホテル用地では、現在、名鉄協商が運営しているような駐車場は検討されていないとのことでありますが、市としては、現在の南北の駐輪場の位置を駐車場として整備していきたいと考えております。駐車台数については、小牧駅周辺を含めた駐車場整備地区で駐車場整備計画を策定しておりますが、この駅前広場の動向に応じて、需給状況が変動するため、同時進行で改定を進めています。

【大塚会長】
再整備を行った際に、駐車台数が不足し、車を停めることができない等の問題が起こらないようにしないといけないと思います。

【事務局】（大澤課長）
中央図書館の地下駐車場は利用率が高いですが、小牧駅地下駐車場は余裕があるため、地区全体で需給バランスを見て、適切に配置していく必要があると考えております。
駐輪場に関しては、現在の利用台数分程度は、駅前広場内の北側に駐輪場を設けて確保したいと考えております。
また、大屋根のようなシェルターについても検討していきたいと思います。資料のイメージパースには入っておりませんが、印象的で、駅があるということがと分かるようなシンボル性のあるものを検討したいと考えております。
タクシーにつきましては、タクシー事業者は３社が乗入れしており、現在のタクシーバース数は確保する方向で事業者と協議する予定としています。

【秦野委員】
駅前広場等で様々な活動をするためには椅子や机などいろいろなものが必要となると思います。多治見市の「虎渓用水広場」では、自由に活動ができるよう、そこで使える備品の貸出も行っています。要するに、駅前広場に備品を収納できるスペースがあるということです。単に広場を整備するだけでなく、収納などのことも考えていかないと有効に使われないのではないかと思います。

【大塚会長】
ありがとうございます。そういったことも考えていかないといけないかと思います。

【事務局】（大澤課長）
今後の設計のタイミング等で検討できればと思います。

【大塚会長】
一度ご発言いただいた方でも、皆さんの話を聞いていると、いろいろと追加で意見が出てくるかと思います。今回ご意見をたくさん言っていただかないとその反映をする機会がこの後あまりないので、本日いろいろとお話いただければと思います。

【加藤委員】
計画平面図に記載されている民間ホテル用地についてであります。恐らく収益の主力はホテル事業ということで、それ以外の部分については、経営上の重荷になっており、なるべくコンパクトにしたいということかと思われますが、現在の名鉄ホテルにはホールが備わっており、小牧市内でも最大規模の収容力があります。先ほど、秦野委員がご意見されたように、名鉄犬山ホテルにあったホールが無くなってしまったため、犬山から名鉄小牧ホテルまで訪れて利用されていると聞いています。小牧だけでなく、周辺地域の核となり大人数が集まることができるホールとして利用されている状況でありますが、事業の採算性が合わず廃止となってしまうと、地域にとって大きな損失となってしまいます。ある程度のキャパがあり、交通の便が良い場所に多目的に使えるホールが必要であると思っておりますので、具体的に市がどうこうという話は難しいかもしれませんが、市民のニーズとしてそういった声があるということは、民間事業者に働きかけていただきたいと思います。

【大塚会長】
市として具体的なことは難しいと思いますが、このような場で市民のニーズとして声が上がったことは伝えていただけるかと思います。
他はいかがでしょうか。

【生田委員】
熱田神宮の前に「あつた nagAya」がオープンしました。大きい建物ではないのですが、熱田神宮の目の前ということもあり話題になっています。「あつた nagAya」は、中身はフレキシブルとなっており、小さい商業施設が集積しています。ここに訪れると美味しそうなお店があり、ある種シンボル的な場所となっています。

【大塚会長】
極端な例ではありますが、テレビなどで見かける風景として金沢は、あの鼓門のモニュメントを見ると一瞬で金沢駅だと分かるように、小牧駅にもシンボル的ものがあると良いと思います。
他はいかがでしょうか。

【秦野委員】
小牧駅は小牧の顔となる場所だと思います。小牧は産業のまちですが、小牧が産業のまちであることが伝わるような発信の核であってほしいと思います。どこの駅に来たのかわからないということではなく、地上部に上がったときに小牧の顔となるものがあると良いと思います。
また、生田委員からもあったように「あつた nagAya」は雨に濡れないようにテントがあり、名古屋

を象徴するようなお土産屋もあります、小牧にも小牧らしさを感じるような駅と一体化した空間というものがあると良いと思います。

【大塚会長】
他にはございませんでしょうか。よろしいでしょうか。
無いようでしたら、本日の委員の皆様からのご意見等を踏まえながら、今後小牧市のほうで「小牧駅前広場等整備基本計画」の策定を進めていただくということになろうかと思いますので、よろしくお願いいたします。
それでは、次第の３その他に移ります。その他として何かありますでしょうか。

【事務局】（田中係長）
事務局より一点、今後の予定についてご連絡させていただきます。
先ほど大塚会長からもお話がありましたとおり、本日いただきましたご意見等につきましては、一旦事務局にて整理をさせていただき、これらを踏まえながら計画の素案を作成し、パブリックコメントを実施した後、策定・公表する予定をしております。現時点では具体的な時期を申し上げることはできませんが、次回の会議につきましては、パブリックコメント実施前に開催させていただき、計画素案に対するご意見を頂戴できればと考えております。詳細な日程につきましては、改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【大塚会長】
ありがとうございます。その他、何か発言がありましたらお願いします。
特に発言がないようですので、進行を事務局へお返しします。

【事務局】（大澤課長）
本日は長時間お疲れ様でした。
最後に皆様に交通安全についてご連絡させていただきます。交通事故を決して他人事と思わず、日ごろから気をつけていただくようお願いいたします。横断歩道は歩行者優先であり、車を運転される際には、横断歩道の手前では速度を落とし、歩行者等の早期発見に努めていただきたいと思います。また、歩行時においては、左右の安全確認を行った上で、必ず横断歩道を渡っていただくなど交通ルールをしっかりと守り、加害者にも被害者にもならないよう日頃より交通安全にご注意いただきますようお願いいたします。
それでは、これをもちまして令和７年度第１回小牧駅前広場等整備基本計画に関する有識者会議を閉会します。皆様、本日は大変ありがとうございました。